

【9月30日に追加提案された補正予算】

1. 8月11日からの大雨に伴う災害復旧
- 6億2568万円
  - (1) 公共土木・農業用施設等の災害復旧
    - 5億3968万円
    - ① 土木施設23件 3億5620万円
      - 河川、水路(18件) 道路・里道(5件) 等
    - ② 農業用施設9件 1億848万円
      - 農道等(4件) 水路(3件) ため池(2件)
    - ③ 応急復旧140件 7500万円
      - 被災箇所等の応急対応による復旧
  - (2) 教育施設の災害復旧 8600万円
    - ① 甘木中学校 6373万円
      - 擁壁復旧、樹木・土砂撤去
    - ② その他小・中・特別支援学校11校 1920万円
      - 体育館屋根防水、側溝浚渫等
    - ③ 中学校給食センター 307万円
      - 屋上ダクトの補修等

2. コロナ禍における児童・生徒の学習機会の確保

- 1億106万円
- (1) 学校における感染防止対策強化 5295万円
- ① 体育館・理科室へのWi-Fi整備 4950万円
- 児童生徒を分散させオンライン授業を実施するため、体育館やミーティングルーム、よく使う理科室にWi-Fiを整備
- ② 健康観察アプリの導入 345万円
- 保護者からの出欠連絡や児童生徒の家庭での検温結果を自動で管理するためのアプリ
- (2) 家庭におけるオンライン学習の実施 4811万円
- ① 家庭でのオンライン学習に必要な通信機器等の拡充 3867万円
- 家庭でのオンライン学習を行うために必要な機材の拡充を図るもの。
- 家庭用貸し出し用モバイルルーター 700台
  - 家庭用タブレット充電ケーブル 5150個
  - 教師用マイクなど 197セット

- ② オンライン授業に必要なシステム等の整備 944万円
- オンライン授業等の実施に伴うウェブ会議システムの整備及び教師、児童生徒個人のID、パスワードの設定を行うもの。
- ウェブ会議システム 197ライセンス

10月から新型コロナウイルス感染症

自宅療養者へ生活物資をお届けします

新型コロナウイルス感染症陽性での自宅療養者か濃厚接触者等で、食料、日用品を親族などからの支援を受けることが難しい方に、食料、日用品等の生活物資を無料で自宅に届けます。

(1) ①～③の方で、親族などからの支援を受けることが難しい方

① 保健所より新型コロナウイルス感染症陽性と診断され、自宅療養されている方

※福岡県より食料支援を受けている方は除く

② 保健所より新型コロナウイルス感染症濃厚接触者や判断され、自宅待機により自力での買物などが難しい方

③ その他上記の方と同居している方 等

(2) 申込方法 本人か家族などから市に電話で申込み(平日8時30分～17時15分)。

住所・氏名・電話番号・世帯の人数のほか、保健所からの指導内容等をお尋ねします。

(3) 申込先 福祉課総合相談担当

電話：41-2672 ファックス：41-2662

(4) 配達方法 生活物資を準備・配達する。直接受け渡しせず、玄関先等への配達(置き配)を基本とします。

(5) お届けするもの(1週間程度必要なもの)

- ごはん、レトルト食品、缶詰等
  - トイレットペーパー、消毒液等
- ※希望があれば延長分の追加支援を受付けます

ふるしゅう和秀とやさしさ市民ネットワーク

でんわ：090-2517-4005  
ファックス：0944-85-0028  
furusho\_net@hotmail.com

【第1部：議会報告編】やさしさつなぐホットニュース

2021年秋号 通巻第68号

住 所：〒836-0041福岡県大牟田市新栄町17-47  
フェイスブック：https://www.facebook.com/furusho.net  
けいたいメール：kz\_furusho.1972.08.28.oomuta@docomo.ne.jp



【決算特別委員会の様子】

10月に入り過ごしやすくなりましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。前回の夏号では熱海市伊豆山地区の土石流被害にお見舞い申し上げましたが、8月には、武雄市、久留米市を始め、全国各地で数日間に及ぶ大雨が降り続けました。さらに竜巻やゲリラ豪雨等の災害がおきています。本市でも、アメダスでは8月11日から18日の8日間で1049ミリ、24時間最大312ミリ、1時間最大47ミリ(福岡国道事務所の田隈雨量観測局では1時間最大64ミリ)の大雨が降りました。今年8月の4倍、年間降水量の半分以上に相当し、福岡県内最大級の総雨量を記録しました。今回の大雨で被害を受けた皆様、心よりお見舞い申し上げます。今回の大雨による被害だけでなく、昨年の被災箇所が被害を受ける等、昨年の豪雨災害における復旧・復興途上の被災であり、引き続き復旧・復興が大きな課題です。昨年の7月豪雨のような1時間に100ミリ近くの短時間集中豪雨はなく、また昨年の豪雨を教訓に全的に側溝、水路の土砂の浚渫、三川ポンプ場の増強などにより、昨年の豪雨よりも被害は少なかったものの、市内の複数個所で

相次ぐ豪雨災害にお見舞い申し上げます

決算特別委員会では、障害者就労継続支援A型事業の実態調査の必要性、生活保護世帯のエアコン設置の必要性、コロナ禍に

おけるオンライン授業の必要性について指摘し、補正予算に

何度も浸水し、根本的な解決策を考える必要があります。現在策定中の「排水対策基本計画」を効果的な計画にする必要があります。今後とも災害が起きても被害が小さくなるような「減災のまちづくり」を提案していきます。

コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が進むにつれ、感染者が落ち着いてはいるものの、子供たちへの感染が増え、予断を許さない現状です。緊急事態宣言は終わったものの、引き続き一人ひとりが感染拡大の予防を心がけていく必要があります。

9月議会では質問には立ちませんでした。決算特別委員会では、障害者就労継続支援A型事業の実態調査の必要性、生活保護世帯のエアコン設置の必要性、コロナ禍におけるオンライン授業の必要性について指摘し、オンライン授業については、補正予算を追加提案頂きました。

コロナ禍で運動会や秋祭りも中止や延期、入場制限など様々な制限がありますが、皆様のご健康とご多幸を願います。

日頃からの皆様のご支援、御協力に感謝申し上げますとともに、なお一層の力強いご指導、ご支援をよろしくお願ひします。

2021年10月大牟田市議会議員 古庄和秀



# 9月議会・決算特別委員会のご報告

9月6日(月)～30日(木)まで9月議会が開催されました。その間、決算特別委員会も開催され、全議案可決、認定しました。補正予算についても初日と最終日に提出され、可決しました。6月議会に代表質問したため、今回は議会質問は行いませんでしたが、決算特別委員会において3点質問し、特にオンライン授業の充実についての要望は最終日の補正予算案の計上に繋がりました。今後とも、その時々に必要な制度・政策を提言していきます。

## 【決算特別委員会においての要望事項】

①オンライン授業の環境整備は、休校時のオンライン授業に限らず、感染拡大予防に加え、海外や被災地などの遠隔地との交流の観点等からも、自宅でも教室と同じ授業が受けられるハイフレックス型授業を行うための環境を早急に整備してください。

⇒複数の議員が質問や意見、要望を出したことから、最終日に補正予算が計上されました。

②障害者就労継続支援A型事業所は、適切な事業運営がなされるように引き続き県と連携し、緊張感を持った実地指導等を実施してください。

③生活保護世帯のエアコン設置については、国の通知により、熱中症予防の観点から一定の条件に合えば費用の一部を支給できるようになりましたが、エアコンが必要な環境でも条件に合致せず、設置できないこともあることから、さらなる条件緩和を国等に要望してください。

⇒酷暑が続く中、平成30年度の厚生労働省保護課長通知により、熱中症予防の観点から一定の条件に合えばエアコン購入費用の一部を支給できるようになりましたが、体温調節ができにくい方と複数の条件があるため、条件緩和を要望しました。

## 【9月6日の初日に提案された補正予算】

### I 新型コロナウイルス感染症対策 3億8132万円

- ワクチン接種の着実な実施 2億5582万円
  - ワクチン集団接種の実施及び予約システムの体制強化等 2億3724万円
- ワクチン接種にに従事する医療従事者への支援 1848万円

ワクチンの集団接種の継続実施に伴い、従事する医療従事者(医師、薬剤師、看護師)に対するしゅつむりようしきゅうけいぞくけいぞくいし出務料支給を継続する(延528人1日あたり医師5万円、薬剤師3万円、看護師2.5万円)

### (3) ワクチン接種証明書の交付 10万円

海外渡航者向けにワクチン接種証明書を交付

### 2. 事業継続支援と地域経済活性化 1億469万円

(1) 国・県の月次支援金への上乗せ支援6750万円  
緊急事態措置等により国及び県の月次支援金が延長されたことから、市独自の支援金についても延長して給付する(令和3年5月～9月)

### (2) コロナ禍における商品開発支援 500万円

アフターコロナを見据えた事業の継続や発展に向けて、インターネット販売や全国発送等の新たな販路に対応できる新商品を開発する市内事業者を支援する。上限50万円

### (3) プレミアム電子商品券の発行支援 2200万円

コロナ禍における消費喚起策として、大牟田商工会議所が発行するプレミアム付き電子商品券に対し、補助(※発行総額2億4000万円)

### (4) ICTを活用したスマート農業設備・機械及び自給飼料生産機械の導入に対する助成 1019万円

夏場の畜舎内飼養環境を改善するためのICT等を活用したスマート農業設備・機械、及びコロナ禍で不安定な輸入飼料の供給に対応するための自給飼料生産機械の導入に対し、補助を行う

### 3. 新しい生活様式に対応する市民サービス向上 2081万円

#### (1) 窓口における非接触対応化の推進と手続きに要する時間の縮減 1401万円

市役所窓口における来庁機会及び、来庁時の接触機会や滞留時間の低減のため、申請支援システム利用に向けた準備のほか、コンビニ交付対応行政キオスク端末やキャッシュレス対応レジを導入する

#### (2) マイナンバーカード交付に係る予約管理システムの導入 613万円

スマートフォン等によってカードの受取来庁予約ができるカードの交付管理システムを導入

### II 災害からの復旧・復興と防災力の強化

#### 1. 災害復旧・復興 1億4070万円

##### (1) 河川の災害復旧 1億円

令和3年5月の豪雨により、被災した河川の復旧工事を行う

##### (2) 河川及び水路の浚渫・除草 4700万円

大雨時の浸水被害を軽減するため、河川及び水路に堆積した土砂の浚渫と除草を行う

#### 2. 防災力の強化 7100万円

##### (1) 排水ポンプ車の導入 6500万円

毎年大雨に対する緊急的な対応として、市内の浸水箇所を速やかに排水し、浸水を解消するため、排水ポンプ車を導入する

##### (2) 学校の受変電設備のかさ上げ 100万円

ハザードマップ浸水想定区域に位置する学校の受変電設備のかさ上げ工事のための実施設計を行う

##### (3) 防災重点農業用ため池のハザードマップ作成 300万円

ため池決壊による被害軽減を図るため、令和元年度から計画的に作成している防災重点農業用ため池のハザードマップを追加して作成する

#### (4) 防災士との連携強化 200万円

市が養成した防災士との災害時の情報提供等に

### III 地域交通ネットワークの整備と安全・安心なまちづくり 1417万円

#### (1) 新たな地域公共交通計画策定の推進 159万円

大牟田市地域公共交通計画の策定にあたり、専門家や市民意見を把握するために協議会への学識経験者の参加及び市民意見アンケートを実施する

#### (2) 予約型乗合タクシー実証実験の実施 178万円

令和3年9月末に「勝立～新勝立4丁目」のバス路線が廃止となる予定であることから、玉川校区まちづくり協議会が県補助を活用して実施する買い物弱者支援に係る実証実験に、廃止区間の地域を対象区域に加え、予約型乗合タクシーの実証実験を行う

#### (3) 防犯カメラの設置 1080万円

犯罪等の抑止・減少を図るため、小・中・特別支援学校に防犯カメラを設置する



### 10月から全校区でプラスチック製容器包装を収集

プラスチック製の容器や袋などに「プラ」マークの表示があるものを対象とします。

詳しくは、広報おおむた(10月1日号)をご確認ください。

「できることから、できるだけ」ご協力ください。ホームヘルパーの時間内に分別できない場合は、「燃えるゴミ」と一緒に出してください。

### 新たなごみ処理施設は「エコタウン」に作られます。

場所はRDFセンターの近くの約3万平方メートル。有明海沿岸道路が近く、ごみを安定して搬出入できます。人口比などを基に算出した建設費の負担割合は、おおむた市約68%、熊本県荒尾市約32%になります。清掃会議会では3度続けて明治校区に作られること、新開グリーンセンター跡地の活用などを提言しました。

